

第8回新見市まちづくり審議会概要

日 時：令和2年2月17日(月)16時00分～17時30分

場 所：市役所南庁舎 3階 大会議室

出席者：委員 堀江利明・川上由子・伊田久志、川上博史

多賀紀征・山口紀久子・山本浩史

※欠席：佐々木友仁

市 事務局（総合政策課）

1 開 会

委員総数8人のうち、半数以上が出席しているため、新見市まちづくり審議会条例第5条第2項の規定により、本会が有効に成立していることをご報告いたします。

2 会長あいさつ

日本国内ではコロナウィルスの拡大が報道されており、外出もままならない状況があります。今回諮問された「第3次新見市総合計画」は、時間かけてもなかなかご意見が揃わない課題かもしれませんが、できるだけ短期間で審議を行っていきたいと考えております。

本日は、みなさんからいただいたご意見をもとに協議を進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

3 協 議

第3次新見市総合計画について

（会長）

委員の皆さんからいただいた、ご意見などをもとに修正された点につきまして、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

・修正点について説明

（会長）

ただいま事務局から説明がありましたが質問やご意見はございますか。

（委員）

基本理念の中にある、「責任」という言葉ですが、市民に対して「責任」という言葉を使うことに違和感を感じます。市民にはいかに参加してもらうかを考えることが大切なので行政と同様に責任を求めるのはどうかと思います。

(委員)

行政と市民が対等な立場で責任があるように見えるので、強く感じるように思います。「責任」ではなく「主体」という言葉の方がよく使われるかもしれません。イメージの問題かもしれませんが、「責任」という言葉についてもう少し説明があっても良いと思います。

(事務局)

表現について検討します。

(委員)

市民アンケートでは、市外へ出たいと回答する中学生や高校生の割合が高いように思います。新しい企業を誘致することや起業・創業の支援も必要だと思います。新見市では新しいことに挑戦できるというイメージをつくることも必要だと思います。

(事務局)

今のご発言につきましては、「鉱業・工業」の主要な施策・取組の中で多様な業態の企業誘致を促進することとしております。この計画の中で、具体的な事業を全て書き込むことはできないので、想定される事業を包含してその方向性を示していくととしています。

(会長)

運転免許返納後の対応についてはいかがでしょうか。

(委員)

運転免許返納後の対応について記載がないように思われたので意見としてあげさせていただきました。

(会長)

市内の居住者を減らさない対策として、高速道路を利用した通勤者への支援とありますがこの項目はいかがのでしょうか。

(委員)

高速道路を利用した通勤者への支援は市内居住者を減らさないための取組や関係人口を増やす取組として有効だと思います。

(会長)

人口ビジョンの考え方についてはいかがでしょうか。

(委員)

現在までさまざまな取組を行ってきても人口は減少しています。新しい「新見らしさ」や「新見ならではの」をつくらないと、人口増は望めないと思います。新しい計画をつくる

のであればそこは強い思いを持ってやっていく必要があると思います。人口増を目指すくらい勢いがあっても良いと思います。次の世代が残りたいと思う新見市をつくるためには、今から始めないといけないと思います。

(委員)

総合計画をみんなに見てもらうためには、簡略化し「特にこれをやりたい」というものを見せる必要があると思います。

(事務局)

今2点ご意見をいただきました。これは、計画全体を通じた大きなご意見ですので、この場で方向性を示すのは難しいと感じております。持ち帰らせていただいて、あらためてご回答したいと思います。

(委員)

基本理念から基本目標、基本目標から施策の方向性といった、大きな流れが分かりにくいように感じます。人口減という大きな課題に対して、「これがしたい」というところが見えません。目指すまちの将来像に、これがやりたいということを具体的に書くことや達成目標を入れることで分かりやすくなるのではと思います。

(委員)

施策推進における視点の¹総合戦略としての着眼点(1)(3)人口減少という言葉が出てきます。特に(3)は人口減少を前提とした表現になっています。増加しても、減少しても対応できる地域づくりといった表現が必要だと思います。

(委員)

「義務教育」の主要な施策・取組にふるさとキャリア教育の推進があります。その中の「インクルーシブ教育」という言葉が分かりにくいように思います。

4 そ の 他

○特になし

5 閉 会